

「登米市の文化継承型まちづくり ～生業と景観の観点から～」

この度、東北工業大学と登米市の連携協定事業の一環として、第2回登米市民公開講座を開催します。

今回は、先日『生業景デザイン研究所』を立ち上げ、地域に根ざした生業・地技の継承・発展に取り組んでおられる 大沼正寛 教授による講義です。是非お誘いあわせの上、ご参加ください。

美しい農村景観と歴史的町並みがある登米市。その保全は、日々の暮らしをたてる生業の継承発展が不可欠です。各地の生業を“アトリエ”と呼び、それらが連携共創して“コアトリエ”を形成することで、ゆるやかな地域産業の再生と、美しい景観の保全につなげる地域デザイン論を構想しています。その概要を紹介し、登米市を事例に、生業と景観の将来像を考えます。



ライフデザイン学部
安全安心生活デザイン学科
大沼正寛 教授

日時: 10月29日(火) 17:30～19:00

場所: 道の駅津山・もくもくランド <https://moku2land.com/>

(宮城県登米市津山町横山字細屋26-1)

申込み: 電話、FAX、メールで受付ます

『10/29開催 市民公開講座参加希望』とお書きの上、住所、氏名、電話番号をご記入ください

入場
無料

- ◇ 主催：登米市、東北工業大学
- ◇ 申込み・問合せ
登米市産業経済部産業連携推進課(産業連携係)
TEL：0220(34)2549 FAX：0220(34)2802
メ-ル：sangyorenkei@city.tome.miyagi.jp

